

かいぞう



海蔵地区のまちづくりは、 一人ひとりがジェネレーター！



まちづくりのコミュニティ

「ジェネレーター」という言葉を聞いたことはありませんか？

自分自身が様々な行事の参加者になって、周囲の人をうまく巻き込みながら、その場を盛り上げワクワクした好奇心を持ち、自発的に活動する人材を「ジェネレーター」と呼びます。

実は：海蔵地区には、たくさん「ジェネレーター」がいます。

今年度も、海蔵地区ではたくさんの方の行事がありました。そこに参加して、ワクワクしたあなたこそが「ジェネレーター」なんです。

第10回海蔵こども食堂あいなしの夏まつりでは、巨大流しソーメンの装置が登場しました。参加した子どもたちも楽しかったと思いますが、竹を切り出したり巨大装置を組み立てたり、大量のソーメンを茹でて準備をしたりとした大人たちも、かなりワクワクしたことと思います。

第4回海蔵地区を歩こう会では、山手中学校のボランティアスタッフが活躍しました。ゴール後に、参加者がフォトスポットで撮影した写真の確認作業をしました。中学生スタッフだからこそスマートフォン操作もスムーズでした。

また、歩こう会に参加した子どもさんが、宝物のように持ち帰ってくれた大きな葉っぱや木の実の手触り、家族やみんなで一緒に歩いた海蔵地区のことを、大きくなくても、きっと覚えてくれることでしょう。

これらの行事に参加して、年齢に関係なく「ジェネレーター」になれる可能性を感じることができました。

あなたも、海蔵地区の様々な行事に参加して、一緒にワクワクしてみませんか？

海蔵地区人口 総数 13,191人 男 6,594人 女 6,597人 世帯数 6,196戸 (令和7年2月1日現在)

編集・発行／海蔵地区まちづくり協議会・広報部 印刷／水九印刷株式会社

地域と山手中学校の連携を！

～山下英樹校長にお話を伺いました～



令和6年10月21日に、「海蔵地区まちづくり協議会広報部」のメンバー7名が、山手中学校を訪ねました。

山下校長は、資料をたくさん準備して、現在の山手中学校の様子や今後の部活動、生徒たちの「自己有用感」を育むことへの想いを語ってくださいました。

中学校の休日部活動が「地域クラブ活動」に変わります

少子化により、山手中学校も1年生が6クラス、2・3年生は5クラスしかありません。

部活動は教育的にも大きな意義のある活動ですが、教員も減少している中で、国は令和5年度以降、休日の部活動を学校単位から地域単位の取り組みに段階的に移行していく「地域移行」を進めることとしました。

市では令和8年12月を目途として、休日に新しい活動環境「地域クラブ活動」へ完全移行する準備を進めているとのことです。

経済的な理由などで、やりたい活動ができないなど、大きな格差が生じないように、地域としても見守っていく必要があると感じました。

「自己有用感」を育むために

山下校長によると、「自己有用感」は、「自分の存在が誰かの役に立った」「他人に喜んでもらった」「学級や学校、地域に貢献している」など、相手の存在なしでは生まれてこない感情で、自分の存在を価値のあるものとして受け止めることのできるものだそうです。これは、「自尊感情」や「自己肯定感」とは異なる感情です。

山手中学校の教育目標でもある「人間性豊かで、自ら考え、行動できる生徒を育成する」場所として、校内だけに限らず、地域とも連携することで、互いに活性化できると思います。

社会性の基礎となる「自己有用感」は、実は年齢に関係ないのかもしれませんが。

様々な行事へ、ボランティアスタッフとして参加してくれたことに感謝の声が届いています！

■第4回海蔵地区を歩こう会

ゴール後のスマートフォンでの写真確認やクイズの答え合わせ等スムーズに対応してもらえました。

■じんけんフェスタ2024

じんけん

当日会場で行われた表彰式のお手伝いや、人KENまもる君とあゆみちゃんの可愛い動きで大活躍！

■海蔵こども食堂あいなし

調理や配膳等、本当に助かっています。絵本の読み聞かせやマジックのアシスタントもありがとう。

「今の」山手中学校を訪ねてみて

昔ながらの古い校舎ですが、とてもきれいに掃除されていました。

また、校長室の歴代校長に恩師の写真を見つけて、懐かしかったです。

山手中学校のホームページが毎日のように更新されていて、学校の様子や生徒のみなさんが活躍しているところ等がよく伝わってきます。

地域の大人も一緒に頑張りたいと思いました。

山手中学校の
ホームページ



おばちやま探検隊

「海蔵こども食堂あいなし」に行く！



A: なあなあ、聞いて！ 私、プランターでミニ大根を育てたんやに。

B: どうしたん？ 急に。いつも忙しそうやのに。

A: それがさあ。

回覧板で「野菜を育てて、こども食堂に寄付しませんか？」
って企画があったんで、挑戦してみたんさ。ミニ大根の他に、人参やスナップエンドウを育てた人もおるんやで！



C: そうやったんや！ 毎日、水やり大変やったなあ。それで、うまく育ったん？



A: うん。うまく育ったんで、プランターごと海蔵地区市民センターに運んで、海蔵学童保育所の6年生10名に、収穫体験してもらえたんさ。毎月やってる「海蔵こども食堂あいなし」は、仕事でなかなか参加ができやんけど、この企画やったら、私でもできるな一と思って。

B: そうかあ。うまく育ってよかったなあ！

C: 私は、この間から「海蔵こども食堂あいなし」の調理ボランティアに行つとるよ。

B: そうなんや！ どう？ たくさんの料理を作るらしいから大変やないの？

C: 時間的にも余裕ができて、何か自分にできるボランティアないかな一って思ってたんさ。毎回、たくさん野菜が届いてメニューを決めるんやけど、みんなの協力もあるし、子どもたちの笑顔で、心が満たされるんよ。調理や配膳に、山手中学校のボランティアスタッフも参加してくれて、生き生き働いてる姿に、自分もパワーが充電される感じがするんやに！

B: そうかー。私も娘や孫を連れて、参加してみようかなあ。

C: 子どもたちがピアノ演奏をしてくれたり、マジックとか読み聞かせもあるし、ワークショップで可愛いアクセサリーを作ったり、無料でカバンや服もリユースしているから、毎回いろいろと楽しめるよ。

A: インスタグラム「海蔵散歩」や海蔵地区ホームページでも告知があるし、海蔵学童保育所に聞くと、次の開催もいつあるかわかるよ！



「第4回海蔵地区を歩こう会」が開催されました

令和6年11月30日に「第4回海蔵地区を歩こう会」が、開催されました。

1歳から83歳の169名の参加者と53名のスタッフ（うち5名は、山手中学校のボランティアスタッフでした）、合計222名が楽しむことができました。

健脚コース（4.5km）77名、健康コース（3.5km）92名が、フォトスポットでの記念撮影と現地に行けばわかるクイズに挑戦しました。また、ゴール後の千本引きやインスタグラムの投稿で特別賞を選んだりして過ごしました。



- ① いぬなし自生地→国指定天然記念物になったのは大正〇〇年？
- ② 老松之碑→江戸時代の名奉行の名前は「〇〇〇〇守忠相」
- ③ あいなし自生地→「いぬなし」と「あいなし」実が大きいのは？
(答えは8ページ)



2024 海蔵この一年

地区で開催された行事のいくつかをご紹介します。



堀川菖蒲園
[堀川菖蒲園花菖蒲成会]



4/6 初登校の前に親子で
通学路を歩いてみよう!!
[セフティネット協議会]



5/21 転倒予防教室
[連合若生会]



6/1 山手中学校1年生対象
福祉体験教室
[社会福祉協議会 福祉部]



6/1 山手中学校2年生対象
防災講座
[防災会]



6/23 ニュースポーツ大会
[社会福祉協議会 健康推進部]



6/30 海蔵川水難救命ポイント検
[青少年育成協議会]



7/13 天文教室 星空観察会
[かいぞう文庫]



10/5 人権を考える集い
[人権・同和教育推進協議会]



10/28 海蔵学童保育所児童と
福祉部の交流会
[社会福祉協議会 福祉部]



11/2 街かど花いっぱい運動
[社会福祉協議会 環境部]



11/10 グラウンドゴルフ大会
[社会福祉協議会 健康推進部]



お知らせ
**令和7年海蔵川
桜まつり中止**
樹木診断の結果、複数の
危険な木があると判明しま
したので中止します。
[海蔵川桜まつり実行委員会]

11/17 海蔵川・三滝川堤防清掃
[社会福祉協議会 環境部]



12/8 こどもまつり
[子ども会育成者連絡協議会]



12/15 シュガークラフト体験教室
[婦人会]



海蔵地区のいろいろな活動と一緒に取り組んでみませんか。皆さんの地域団体への参加をお待ちしています。
各団体については、海蔵地区地域団体事務局 [地区市民センター内] まで気軽にお問い合わせください。(電話 333-8770)



令和7年度海蔵幼稚園は幼稚園型認定こども園に移行



令和7年4月1日から、海蔵幼稚園は「幼稚園型認定こども園」に移行します。令和6年8月1日には、その移行にかかる説明会が海蔵幼稚園で実施されました。関心度が高く、参加者は41名でした。

認定こども園とは、幼稚園と保育園のそれぞれのよいところを生かしながら、その両方の役割を果たすことのできる施設のことをいいます。現在、四日市市内には、教育施設（幼稚園）と児童福祉施設（保育園）とを単一施設として、新たに認可を受けたタイプの「幼保連携型認定こども園」が22園（公立10園私立12園）あります。また、認可を受けた幼稚園に保育機能を追加するタイプの「幼稚園型認定こども園」が1園（私立1園）あります。

令和7年度は公立幼稚園6園（海蔵・羽津・泊山・内部・常磐中央・笹川中央）が「幼稚園型認定こども園」となります。



海蔵幼稚園は、「幼稚園型認定こども園 海蔵幼稚園」という名称となり、現在の4・5歳児クラスに加え、3歳児クラスの教育・保育を始めます。土曜保育、夏休み保育も実施され、食缶方式で外部搬入によるデリバリー給食が週6日提供されます。



市長との地域づくり懇談会



令和6年度は、「市総合計画〔2020(令和2)年度～2029(令和11)年度〕の中間見直し」をテーマとして市内24地区において開催されました。海蔵地区では8月3日に地区市民センターにおいて、市長と関係部局職員の出席のもと、海蔵地区まちづくり協議会委員や自治会長が参加し、同協議会で推薦された4名の方が提案・意見を述べました。

◎《子育て・教育施策》 海蔵地区民生委員児童委員協議会 主任児童委員 上野尚子さん

不登校やいじめ等の問題に対応するため、学校にはスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーの3種の専門職種を配置してもらっていますが、関係する民生委員児童委員等との連携のためにも、それぞれの役割についてしっかりした周知が必要です。また、本年度から山手中学校に校内ふれあい教室「ひだまり」ができて画期的なことですが、登校できない生徒もいます。積極的に訪問する不登校対応の職員配置を考えて欲しいです。

◎《子育て・教育施策》 海蔵幼稚園PTA 副会長 吉澤里奈さん

海蔵幼稚園は令和7年度から3歳児から5歳児が過ごす幼稚園型認定こども園となります。子どもを安心して預けることができ、子どもが安全に安心して過ごせ、喜んで通園できることが私たちの願いであり、外周フェンスの老朽化や高さ不足など園の施設はもとより、園の周辺も合わせた危険箇所の改善整備をお願いします。

◎《高齢者施策》 海蔵地区連合若生会 会長 今村敏明さん

高齢化社会が進む中、高齢者の交通手段の確保は喫緊の課題となっています。本市では市街化調整区域で駅やバス停から一定距離に居住する満70歳以上の高齢者を対象としたデマンドタクシー制度（タクシー料金の割引）があります。しかし、老人クラブのイベントが公共交通機関で行き難い四日市ドーム等で行われることもあり、海蔵地区を含めた市街化区域の高齢者も利用できる制度への見直しを望みます。

◎《災害時施策》 海蔵地区連合自治会 会長 羽場誓司さん

高齢者や障がい者を対象とした災害時の避難行動要支援者制度がありますが、地域の自主防災隊や自治会が把握しているのは情報提供の同意書を提出した要支援者のみで、それ以外の人は分かりません。災害時の地域での支援に実効性のある制度となるよう見直しが必要と考えます。

各提案・意見を受けて、市長からは現在の取り組み状況の説明と今後の改善について検討する等の表明がありました。

活躍しています！ 海蔵地区婦人会

海蔵地区の婦人会は、文化祭や堤防清掃など様々な地区行事に参加しています。

令和6年7月14日に、災害時にも役立つ「備蓄食品でポリ袋クッキング」を開催しました。



ポリ袋は、食品用として使える高密度ポリエチレン製の袋を使用しま

す。耐熱温度は120度もあるので、湯煎で溶けることはありません。鍋底に、直接ポリ袋があたらないよう、お皿等を沈めて調理しました。鯖の味噌煮や乾燥野菜のミックス等を使って美味しいお料理ができて、びっくりしました。

袋に材料を入れて湯煎時間を変えるだけで、簡単に作ることができました。デザートに「小倉ういろう」も作りましたが、災害時に甘いものを食べることができたらうれしいだろうなあ…と思いました。家でもポリ袋クッキングを実践してみました。何度か作っているうちにだんだんと手際が良くなりました。時短にもなり、洗い物も少なくなるので、災害時に役立つことを確信しました。みなさんも挑戦してみてくださいね！



また婦人会では、30年以上続く行事として、「ゴキブリだんご」を作って販売しています。今年度は11名が参加し、1,800個分を作りました。毎年5月に作りますので、興味のある人は、ぜひご参加ください。婦人会へのご理解ご協力も、よろしくお願いします。

海蔵卓球同好会が「ふれあいいいききサロン」に仲間入り

令和6年度から海蔵地区の「ふれあいいいききサロン」に仲間入りした海蔵卓球同好会に取材に行ってきました。

この同好会は平成15年に発足し、20年以上の歴史があります。発足のきっかけは卓球台をもらえる機会があり、家で引きこもっているだけではなく、運動した方が良いと考え、その当時の自治会長に相談したところ海蔵南公会所に置くことになり、婦人会が中心となって始まったそうです。

現在は毎週、火曜・水曜・土曜の9時30分から11時30分に開催されています。メンバーは60代から70代の13名で最高齢は79歳でした。いつも、6名～8名くらいが集まり、2台の卓球台を使ってプレイしているそうです。内容はストレッチ、素振り、打ち合いをしてからシングルス、ダブルスの試合形式を交代しながらプレイしていきます。

多くのメンバーは、同好会に入ってから卓球を始めたそうです。市の大会などに個人、団体合わせて年に3～4回ほど出場しているとのことでした。

同好会の魅力について聞いたところ「みんなとわいわい話しながら卓球できるのが楽しい」「楽しく遊んでいる間に脚が鍛えられる」「瞬発力が鍛えられる」「卓球を始めてから転ぶことが少なくなった」など楽しく、良い運動になっているとの声が多かったです。



取材しながら参加しましたが楽しく、あっという間に時間が過ぎ、とても良い運動になりました。「話し半分、卓球半分」と言われていたのが印象的で、話しながら楽しくプレイしている中でも、時には真剣に鋭いスマッシュを打っていて活気のある同好会だと思いました。会長のお話では「卓球は室内でやるスポーツですので雨の日でもできます。球が風の影響を受けるといけないので窓は開けず、エアコンを利用しますので1年中通してプレイすることができます。ラケットは同好会の物を借りることもできます。興味のある人は覗いてみてください。」とのことでした。(注意 室内用のシューズはご持参ください)

「ふれあいいいききサロン」とは高齢者が地域内で集まれる場を作り、孤独感の解消、生活範囲の拡大、また、生きがいをづくりを目的とした事業です。海蔵地区には、くすの木サロン、野田みどりサロン、そば打ちサロン、グランドゴルフサロンがあります。



近鉄阿倉川駅前一新!! 新駐輪場がオープン・駅前広場は令和7年7月頃完成へ

令和6年9月に着工した新駐輪場が完成し、1月27日から利用が始まりました。以前の駐輪場は駅から少し離れた北側にありましたが、駅に隣接した位置に移り、駅舎前への出入口もあります。

照明灯付き屋根と駐輪ラックが新設され、自転車572台、原付バイク12台が駐輪できます（以前の駐輪場は440台でした）。

完成イメージ図



令和7年1月から工事が始まった駅前広場は7月頃に完成の予定で進められています。

広場内は一方通行のロータリー方式で、送迎車両は横付け（4台：障がい者用1台を含む）となります。縦付けスペース（6台）もあります。駅前送迎スペース部の歩道の屋根や照明灯も新設されて明るくなります。



以前の駐輪場



新駐輪場



夜間の新駐輪場

三滝川分派・関連河川整備事業進む!! 令和8年度事業完了を目指して

令和6年度は、三滝川の増水時に三滝新川を通じて河川水を海蔵川へ分派する二つの導流堤のうち三滝新川分派位置にある末永町地先の導流堤や低低水護岸・低水護岸の河川改修工事、海蔵川の新開橋から新開橋間の堆積土砂撤去工事、また堀川の内水対策として海蔵保育園南方の農地内に堀川の増水時に河川水を海蔵川へ分派する放水路の整備工事と阿倉川樋門に隣接する堀川排水機場の整備工事が着工しました。

令和5年度に着工した海蔵川の新海蔵橋北詰西に位置する堀川放水路排水口である西阿倉川樋門の整備工事も進められています。



末永町地先導流堤・低低水護岸等工事



西阿倉川樋門と堀川放水路整備工事



堀川排水機場整備工事

海蔵地区の案内マップが新しくなりました

海蔵地区市民センターの玄関横に地区の案内マップがあります。三重郡海蔵村であった海蔵地区が、昭和5(1930)年1月1日に四日市市へ合併してから70周年を迎えたことを記念して平成12(2000)年3月に地区地域社会づくり推進委員会(当時)が設置しました。10年ほど前に新しいマップにしましたが、以来年月を経て再度表示が見づらくなってきたため、地区まちづくり協議会と地区社会福祉協議会(基金)が令和7年2月に新しいマップを作成しました。

